



上はいい感じだったんですよ。でも景色はもやもや～

## 【令和8年度がスタートしました！！】

皆さま、こんにちは。事務局長の河又です。

去る5月21日(木)に開催されました「令和8年度通常総会」におきまして、令和8年度の事業計画ならびに収支予算計画が無事成立いたしました。以下、あらためましてポイントのみご説明させていただきます。

### 【総会の議題とポイント】

#### ①令和7年度事業報告および決算報告

期初計画にはなかった「道の駅フェス」にエントリーしたことにより、令和7年度は収入/支出ともに計画値を大きく上回りましたが、全体的にはプラス要素とマイナス要素が概ね均衡し、最終損益は1,649,974円という結果となりました。次期繰越金としては前年から約20万円の減額となりますが、もともと令和7年度の期初予算では▲58万円のマイナス予算を組んでいたため、対予算では約40万円の増益となりました。

#### ②令和7年度監査報告

監事2名による監査の結果、「適正」であった旨が報告されました。

#### ③令和8年度事業計画(案)および収支予算(案)

人員体制・事業計画ともに前年から大きな変更点はありませんが、令和8年度は「こキャン」をはじめとする単年度事業が複数なくなったことにより、予算の規模は前年よりもやや小さくなりました。収入の柱である「旅行サービス手配」においては、需要・対応能力ともに頭打ちとなっていることから更なる上積みを目指すことは難しい状況ですが、物販事業においてはこの4月に発売された新商品「鮎の炊き込みご飯の素」による増収効果を見込んでいます。

■R8収入予算：2,120万円（前年差▲65万円）

■R8支出予算(予備費を除く)：1,945万円（前年差▲50万円）

■次期繰越金：175万円（前年差+10万円）

#### ④令和8年度一般会計の一時借入金限度額について

「資金調達に関わるリスク管理」の一環として、令和7年度より単年度ごとに事前承認を取ることにしました。令和8年度も同様の手順にてご承認いただきました。

#### ⑤その他

4月より、黒松内町産の天然鮎を使用した新商品「鮎の炊き込みご飯の素」の販売が始まりました。今のところ町内においては「道の駅くろまつない」での販売がメインとなりますが、6月よりふるさと納税サイトやJR小樽駅構内にある「駅なかマート タルシエ」でも販売を開始するなど、適宜、販売チャネルの拡充に努めています。

会員の皆さまにおかれましては、日頃のご支援・ご協力にあらためて御礼申し上げますとともに、本年度も引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

# B2

## ニュースレター

### 2026/6/30

来期の観光協会の主な事業  
黒松内岳山開き

#### 【フットパスクラブ通信】

黒松内フットパスクラブ主催イベント「黒松内で見つけよう！食べよう！ぶなの新緑とスプリング・エフェメラルのフットパス」のお話。

#### 【黒松内岳山開き登山イベント】

なんと二年連続で悪天候のため振り替えになった山開き！果たして今回はどうなったんでしょうか？

#### 【そっくりさん】

お勉強会こぼれ話その①  
言葉と向き合ってみると意外な発見があるかもねという話。

【じり通信No.40】文：山本竜也  
たかがガラス、されどガラス。そんなお話です。

#### 【お勉強会】

お勉強会こぼれ話その②  
第1回お勉強会の核の部分のおさらいと、その補足の様なものです。

#### 【編集後記】

最近では通知表は渡さないって方向になっているそうですね！

#### 協会主催・協力イベント

#### 7/25(土)は夏祭り！

ビーフ天国は9月にやることになりました。なので、ここ数年続いていた役場駐車場で7月のお祭りは、ビーフ天国改め夏祭りになり、会場も町民センター前になりました。

メインは今までと同様に、出店のある縁日もどきのようなです。観光協会も携わることになっていますが、実はまだ全貌は良く分かっていなかったりします。

たのしみですね！（棒）

## フットパスクラブ通信 Vol. 24

### 黒松内フットパスクラブ主催イベント開催レポート

5月16日(土)、黒松内フットパスクラブ主催イベント「黒松内で見つけよう! 食べよう! ぶなの新緑とスプリング・エフェメラルのフットパス」を開催しました。

当日は、一般参加者、クラブ会員、スタッフを合わせて総勢31名が参加しました。今年はおかげさまで定員いっぱいとなり、たくさんの皆さんにご参加いただきました。

今回歩いたのは約4.5kmのコースです。温泉を出発し、森林公園を通過してブナの小道へ。折り返して温泉まで戻る道のりを、春の気配を楽しみながらゆっくり歩きました。

天気にも恵まれ、ブナの雌花やおオバナノエンレイソウ、エゾサンショウウオのオタマジャクシ、エゾハルゼミの抜け殻など、道中には黒松内の春を感じられるものがたくさん。さらに、ウドやフキなどの山菜も見られ、歩くたびに新しい発見がありました。

ウォークの後は、お待ちかねのランチタイム。温泉のお蕎麦と、料理長特製のいなり寿司を味わいながら、ゆっくり疲れを癒していただきました。春の自然とおいしい食事を楽しむ、和やかな一日となりました。

次のイベントは10月31日(土)を予定しています。内容は黒松内フットパスクラブ会員が計画中です。皆さんのご参加をお待ちしています。(事務局:岡本)



### 黒松内岳山開き登山イベント

#### 2年連続の延期を乗り越えて、晴れやかな山開きに

6月14日(日)、黒松内岳山開きの記念登山イベントを開催しました。当日は参加者・スタッフ合わせて総勢31名が集まり、にぎやかな一日となりました。

当初は5月24日(日)の開催予定でしたが、今年も悪天候により延期となり、6月14日(日)に改めて実施することに。昨年は一時雨に降られながらも何とか開催できましたが、今年はその心配を吹き飛ばすような、気持ちのよい晴天に恵まれました。

山頂では、黒松内岳ならではの魅力である、太平洋と日本海の二つの海を一度に見渡せる雄大な景色を、今年もしっかり楽しむことができました。登り切った先に広がる眺めに、参加された皆さんも大きな達成感を感じられたのではないのでしょうか。

予定より少し遅れての終了となりましたが、参加者の皆さんは無事に下山され、笑顔の多い山開きとなりました。ご参加いただいた皆さま、運営にご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

最後に、少しだけ当日のこぼれ話を。昨年に引き続き、来賓のご挨拶には新川副町長と福本町議会議員にご出席いただきました。昨年は新川副町長がサプライズで登山に参加されましたが、福本議長はご挨拶のみ。その後1年間は新川副町長から何度も登山のお誘いを受けていた福本議長は今年の登山を決意。ですが、今回は何と新川副町長が諸事情によりご挨拶のみとなり、それを受けた福本議長は冗談交じりに「裏切られた」とひと言。会場には和やかな雰囲気広がりました。来年こそはお二人そろって山開きを楽しんでいただけることを、ひそかに期待しています。

(事務局:岡本)



# そっくりさん

## 言葉を考える

世間話をしていて思いついたことをAIに表にしてもらった。

### ①「体験」と「レジャー」

観光の文脈でよく出てくる二つの言葉。実は全然違うんだけどごっちゃにしているませんか？って話。どっちが良い悪いという話ではないです。最近は「アクティビティ」なんて言ってるけど一緒にしていることも多いですね。

### ②「稼ぐ」と「儲ける」

これもまた全然違うんだけどごっちゃになっていませんかという話で、これもまた良い悪いという話ではない。どう感じるかは人それぞれ、他人がどう言う事でもないですね。

似たような言葉だからと何気なく使っているが、この言葉の主役って誰だろう？なんてことに思考を巡らせてみると面白い発見があるかもですね！

項目	体験	レジャー
主役	変容していく「自分」	消費される「コンテンツ」
リスク	常に内包し、自分で引き受ける	管理・排除されている
場所	「ここでなければならない」文脈	「どこでもいい」代替可能な舞台
コスト	身体的・精神的な「投資」	金銭的な「支払い」
結果	価値観の更新、自己対話、傷跡	快適さ、疲労回復、映え
項目	稼ぐ	儲ける
主役	自分の「身体」や「労力」	めぐってくる「仕組み」や「好機」
語源のニュアンス	汗を流して働く	あらかじめ準備して待つ
コスト	身体的・精神的な「労力」	仕組みづくりやリスクの引き受け
結果	労力に応じた「報酬」	枠組みから生まれる「利益」
自治体と言うと	お前らが頑張れ（他人事）	仕組みづくりをしよう（協力）

なんて話を2回目のお勉強会でしようかと思ったんだけど、ぼしょってしまったのでここにのつけてみた次第でございます。少子化と高齢化なんてテーマは過疎の田舎のちびっこ用の自由研究にもおすすめな話なんじゃないかならうか！（事務局：遊佐）

## じり通信No.40

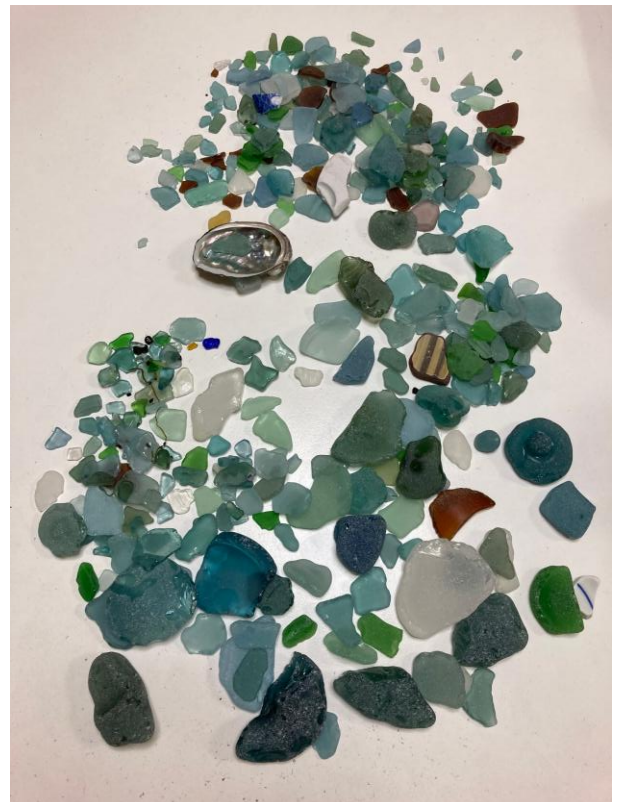
### 海の宝石 シーグラス 文：山本竜也

ガラス製の瓶や浮き球が波で砕かれ、小さくなり、丸みを帯び、海岸に打ち上げられる。目ざとい人がそれを見つけて拾い集める。シーグラスといい、一定数のファンがいるらしい。私もこの春から拾うようになった。

シーグラスは色とりどりだが、白や緑が多く、赤や黄色は少ない。青っぽいものは珍しくないが、真青はほとんどない。形は不規則なものが大半だが、きれいな球形をひとつだけ拾った。ラムネの瓶に入っているビー玉だったのだろうか。曲面に半球がくっついたものはよく見かける。「人魚の乳首」と俗に呼ばれ、吹きガラスの底部分の成れの果てらしい。

寿都のとある海岸にたくさん落ちていたのを見つけたのが収集のきっかけだったので、どこでも拾えるのかと思っていたが、その後、島牧や小樽の海岸で探すと、拾える場所と拾えない場所があると気付いた。ゴミが多いからシーグラスもたくさん打ち上げられているはずと期待しても、そうとも限らない。砂浜はダメだし、大岩の転がる海岸もダメだ。遠浅の浜にも見当たらない。小石や砂利が主体の浜で、かつ外洋からの波が打ち付けるところに多いと感じる。

数が少ない浜では、見つけるだけで嬉しい。たくさん落ちていた浜では、できるだけ綺麗な形や珍しい色を探す。家に帰ったら、色別に仕分けただけで楽しめる。アクセサリーに加工する人もいます。たかがガラスの破片ではあるが、大人も夢中にさせる魅力を持っている。



シーグラス！初めて知りました。ビーチグラスとも呼ぶそうですね。ビーチ……ブナ（Beach）とコロボでできなくもない！？ビーチ（浜）のない黒松内のシンボル・ビーチ（ブナ）の木に、お守り代わりにでも加工してぶら下げて「うちはダジャレの町です！」とかアピールするのは……イケてないですかね？（事務局：遊佐）

## お勉強会

### サボる

4月末、某所にて「なんちゃってお勉強会」と称して少人数ではあるが集まって話をしてみようという会を開いた。私が言い出しっぱの一人なので、最初くらいはとこちらでテーマを設定して話題を振ってみるかたちとなった。何を話したかをすごくざっくりという

- ・人にはいろんな「心理バイアス」やら「社会的望ましさ」なんて言う集団心理が働いているよ
  - ・人は好きならば省エネモードで動こうとするよ
  - ・人にはちゃんと考えるモードも存在するが、疲れるので意識しない限り使うことはないよ
  - ・ああ今サボってたなって感じる事が考えるモードに入るきっかけになるよ
- で、「キムタクの飯の食べ方がやいのやいの言われるのは何で？」っていうワークをやりましょうといった感じの話でした。

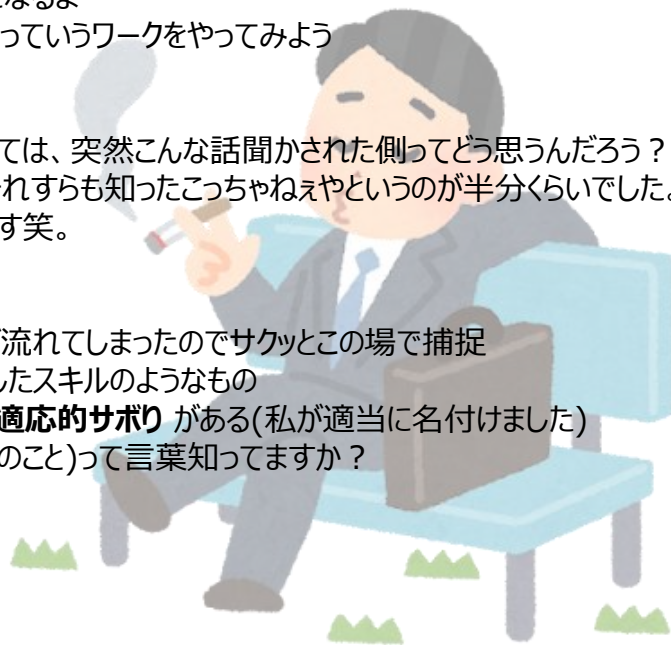
各自が何を思ったかは知る由がないので置いていて、私個人としては、突然こんな話聞かされた側ってどう思うんだろう？と鳩に豆鉄砲的な感じだったのではないかと心配半分。でもそれすらも知ったこっちゃねえやというのが半分くらいでした。特別文句やクレームは出なかったのが肯定されたと判断しています笑。

### おまけ

第2回でおさらいがてら補足を入れようと思っていたが、会自体が流れてしまったのでサクッとこの場で捕捉

- ・思考をサボるという行為は、生物が進化・生存の過程で獲得したスキルのようなもの
  - ・ただし、サボりにも質ってものがあって **機能的サボり** ってのと **非適応的サボり** がある(私が適当に名付けました)
  - ・メタ認知(ざっくりいうと自分の状態を客観的に上から見る視点のこと)って言葉知ってますか？
  - ・メタ認知でサボって良いとこ悪いところの判断できるよね？
  - ・サボりってのは脳のリソース管理だよ
- って感じの話でございます。

ちょっと調べて、少し考えれば出てくる話です。気になったら自分で調べてみてください。そのうち4回目も開催しますがこのつづきの話はおそらくもうしません笑(事務局：遊佐)



## 編集後記

### 評価をしよう

世の中には評価しないといけないうことってのがいっぱいあるが、実際に評価するには対象をちゃんと知らねばならないので意外と大変なことだったりする。ただし、それを大変だからと先延ばしすることでツケがたまって気が付いたら手遅れになることだってある。

我々観光協会も久しく外部からのまともな評価を受けていないようで、少なくとも地域の住民からは空気のようなもの(あって当たり前だけどどんな存在かはピンと来ない)と思われているように個人的には感じている。

奴らは何をやっている人たちなんだろう？と思うのは勝手だが、知ろうとしなければ知ることにはできないし、評価することだってできない。

観光協会に限らず、興味あるな、なんか知りたいな、と思ったら、某ゴッド姐ちゃんのように「あなたたち、何をされてる方々なの？」と聞いてみるのがよいかと思います。



観光協会HPにて[B2]バックナンバーがご覧になれます。

[www.bunatatourism.com](http://www.bunatatourism.com)

印刷版をご希望の方は観光協会までご連絡ください。



発行人：一社) 黒松内町観光協会 発行日：2026/6/30 次回発行予定は9月末  
TEL：0136-72-3597 FAX：0136-75-7070 Mail：bunatatourism@gmail.com